

2008年度 情報検索応用能力試験

2級 試験問題(前半)

注意事項

1. 着席したら、受験票を机の上に置いて下さい。
2. 解答用紙の所定の欄に受験番号・氏名を必ずご記入下さい。
3. 解答時間は、13：15～14：45の90分間です。
4. 中途退席できる時間は、14：00～14：30の30分間です。
一旦退席すると、前半の試験終了まで再入場はできません。
5. 問題は12問、全15ページ、解答用紙は3ページです。確認の上、落丁・乱丁・印刷不鮮明のもの等がありましたら、手をあげて試験官にお知らせ下さい。
6. 解答は、問題文の指示にしたがい、解答用紙にご記入下さい。
(解答用紙裏面への記入は無効です。)
7. 問題の内容に関する質問は一切できません。
8. 試験問題は持ち帰って結構です。

問1 以下はコンピュータ・通信分野の技術区分と関連する用語を整理した表である。
空欄 (A) ~ (E3) にあてはまる最も適切な語句を解答群から選択し、その番号を
解答欄に記入しなさい。ただし、同じ用語を2回以上使用しないこと。

技術区分	関連用語
コンピュータの (A)	Windows、 (A 1)、 (A 2)、 (A 3)
コンピュータの (B)	SSL、 (B 1)、 (B 2)、 (B 3)
(C) の形式	JPEG、 (C 1)、 (C 2)、 (C 3)
通信 (D)	TCP、 (D 1)、 (D 2)、 (D 3)
検索 (E)	goo、 (E 1)、 (E 2)、 (E 3)

解答群

1. API	2. ASCII	3. baidu	4. CPU
5. FTP	6. Google	7. HTML	8. HTTP
9. JavaScript	10. Linux	11. LZH	12. MP3
13. OCR	14. OS	15. RSS	16. SNMP
17. Tron	18. Unix	19. URL	20. USB
21. Vulnerability Scanner	22. WinFX	23. XML	
24. Yahoo!	25. ZIP	26. アップロード	
27. エンジン	28. クラッキング	29. ショートカット	
30. セキュリティ	31. テキストボックス	32. データ圧縮	
33. ファイアウォール	34. プロトコル	35. マークアップ	

問2 以下は情報記憶媒体である DVD に関する記述である。空欄 (A) ~ (J) にあてはまる最も適切な語句を解答群から選択し、その番号を解答欄に記入しなさい。

情報記録媒体の一種である DVD は、CD と同じ光ディスクメディアで、物理的な形状も CD と同じく直径 12cm の樹脂製円盤である。読み出し専用の (A)、一度だけ書き込める (B)、ほとんどの DVD プレーヤーで再生可能なまま書き換えを可能にした (C)、フロッピーディスクと同じような使い勝手を持つ (D) の 4 種類があり、DVD-RW/-RAM は (E) 光ディスクの一種である。なお記録型 DVD を巡っては業界内で規格の分裂があり、DVD-R、DVD-RW には、対抗規格の DVD+R、DVD+RW がある。読み出しの原理は CD とほぼ同じで、ディスクの表面に (F) を照射し、その (G) を検出してデータを読み出す。

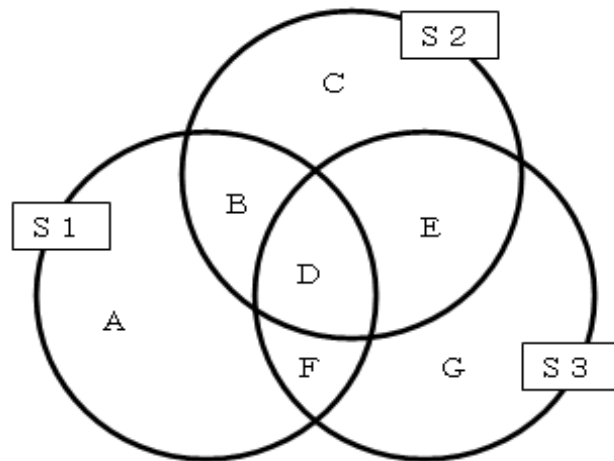
また著作権保護技術の一つとして、コンテンツのデジタルコピーをメディアに記録する際にこれを一度だけ許容し、メディアから他の機器やメディアへのダビングを禁じる (H) を実現するために、メディア 1 枚ごとに固有の (I) や MKB と呼ばれる情報を記録しておく方式の (J) があり、これに対応した DVD が提供されている。

解答群

- | | | | |
|-------------|--------------|--------------|-----------|
| 1. B-CAS | 2. CPRM | 3. DRAM | 4. DVD-R |
| 5. DVD-RAM | 6. DVD-ROM | 7. DVD-RW | 8. HDCP |
| 9. MO ディスク | 10. SRAM | 11. コピーワンス | 12. ダビング |
| 13. メディア ID | 14. リージョンコード | 15. レーザーディスク | 16. レーザー光 |
| 17. 磁気 | 18. 赤外光 | 19. 相変化 | 20. 透過光 |
| 21. 反射光 | | | |

問3 このベン図は、文献データベースによって「技術Yを用いて材料Zから製品Xを製造する方法に関する文献」を求める検索における集合関係を表したものである。S1は技術Yに関わる集合、S2は材料Zに関わる集合、S3は製品Xに関わる集合を表す。A～Gは、曲線で限られた領域の集合を表している。

これをもとに、以下の設問に答えなさい。解答は、例にならって解答欄にA～Gのどれか、またはいくつかの足し合わせを記入すること。



設問例：製品Xに関わる可能性の高い集合
 解答例：D + E + F + G

- (1) 材料Zを使った製品で、製品Xを含まない集合。
- (2) 技術Yと製品Xとが論じられている集合。
- (3) 技術Yを含まない集合。
- (4) 技術Yと材料Zと製品Xのうちの2つ以上が合致している集合。
- (5) 「技術Yを用いて材料Zから製品Xを製造する方法に関する文献」を求める検索において再現率が最大の集合。
- (6) 「技術Yを用いて材料Zから製品Xを製造する方法に関する文献」を求める検索において最もノイズが少ない集合。

問4 以下はデータベースシステムの DIALOG および STN の各種コマンドの一部である。コマンド (A) ~ (L) の概要説明として最も適切な説明文を解答群から選択し、その番号を解答欄に記入しなさい。ただし、同じ説明文が2つのコマンドに付けられる場合がある。

- (A) ANALYZE
- (B) BEGIN
- (C) DISPLAY HISTORY
- (D) DISPLAY
- (E) DUPLICATE
- (F) FILE
- (G) FOCUS
- (H) FSEARCH
- (I) RANK
- (J) SEARCH
- (K) TARGET
- (L) TYPE

解答群

- | | | | |
|-------------------------|-------------|-----------|------------|
| 1. オフラインプリントの注文 | 2. ファイルの指定 | | |
| 3. ファミリーなどの関連特許の検索 | | | |
| 4. 回答レコードを適合度の高い順に並び替える | | | |
| 5. 各種の設定 | 6. 検索 | 7. 検索語の列挙 | 8. 検索履歴の表示 |
| 9. 削除 | 10. 重複文献の処理 | 11. 統計解析 | 12. 表示 |
| 13. 並び替え | 14. 保存 | | |

問5 以下は検索機能に関する記述である。空欄（A）～（I）にあてはまる最も適切な語句を解答群から選択し、その番号を解答欄に記入しなさい。

近接演算機能とは、近接演算子を使って2つの検索語間の相対的な〔A〕や距離を指定して検索するもので、ブール演算に比べて〔B〕の高い検索ができる。例えば、検索語XとYについてDIALOGやSTNで X(3W)Y と検索すると、XとYが〔C〕で近接した文章を含むレコードがヒットする。

なお、DIALOGやSTNなどで近接演算子を使った場合は、検索語間の距離は指定した〔D〕となるが、PATOLISやJDreamIIの日本語フィールドなどでは指定した〔E〕となる。

また、検索支援のための機能としてEXPAND機能がある。この機能は、データベースで検索項目（〔F〕、著者名、シソーラス用語等）を〔G〕する機能である。EXPAND機能を使う目的は、①タームが存在しており、検索可能であることの確認、②〔H〕を利用するために、タームのバリエーションを探ること、③そのタームを含む〔I〕がデータベースに何件あるかの確認、等が挙げられる。

解答群

- | | | |
|-----------------|-------------|---------------|
| 1. IOC | 2. IPC | 3. SPC |
| 4. インデキシング | 5. センテンス | 6. トランケーション |
| 7. ファイル移動前 | 8. ブラウジング機能 | 9. レコード |
| 10. 位置関係 | 11. 係り受けの関係 | 12. 形式 |
| 13. 検索実行コマンド入力前 | 14. 再現率 | 15. 指定した順序 |
| 16. 従属関係 | 17. 出現頻度数 | 18. 出現頻度の高い順序 |
| 19. 出力前 | 20. 精度 | 21. 単語数 |
| 22. 統計処理 | 23. 任意の順序 | 24. 年代 |
| 25. 範囲 | 26. 文字数 | 27. 予測 |
| 28. 履歴演算 | 29. 列挙 | |

問6 以下のテーマで調査を行う場合に、枠内の7つの情報ツールのうち、最も不適切であるものを1つ選択し、その番号を解答欄に記入しなさい。

(A) 特許出願前の先行技術を調べる。

1. CA	2. DWPI	3. esp@cenet	4. IPDL
5. JSTPlus	6. PATOLIS	7. RTECS	

(B) ある化合物の物性、安全性、用途などを調べる。

1. Beilstein	2. CA	3. MSDS-OHS	4. REGISTRY
5. RTECS	6. SciSearch	7. 日化辞Web	

(C) ある企業の財務情報を調べる。

1. COSMOS1	2. DISCLOSURE
3. D&B - Dun's Financial Records Plus	
4. Federal Register	5. Gale Group PROMT
6. Mergent™ Company Profile	7. Thomas Register

(D) ある医薬品の副作用を調べる。

1. Adis Clinical Trials Insight	2. CA	3. CHEMLIST	
4. EMBASE	5. JAPICDOC	6. JMEDPlus	7. 医中誌Web

(E) 自社の製品が他社特許を侵害していないかを調べる。

1. CA	2. CLAIMS	3. esp@cenet	4. IPDL
5. JSTPlus	6. NRI サイバーパテントデスク	7. PATOLIS	

(F) 5年ほど前に起こった事件について、その後現在までのニュースを調べる。

1. Asia Intelligence Wire	2. Asia-Pacific	3. CLAIMS
4. Financial Times Archive	5. USA Today	6. World Reporter
7. 日経テレコン21		

(G) 30年前の録音技術に関する文献を調べる。

1. DWPI	2. Ei Compendex	3. INSPEC	4. JST7580
5. JSTPlus	6. NTIS	7. PATOLIS	

問7 以下は情報分析に用いられるデータ源に関する記述である。正しいものには○、間違っているものには×を解答欄に記入しなさい。

- (A) 抄録型データベースは文献情報の生産に関するデータ源としてよく用いられる。その理由のひとつとして、主題分類、主題索引が整備されており、内容の分析が行いやすい点が挙げられる。
- (B) 書誌データベースは経済動向分析のデータ源となる官庁統計と同様、客観的情報分析のために作成されている。
- (C) Thomson Reuters 社の、Science Citation Index、Social Science Citation Index、Arts and Humanity Citation Index は引用文献索引データベースとして最も有名であり、Web of Science という統合データベースから総合的に利用できる。
- (D) 引用情報を収録しているデータベースとしては、CAplus、Scopus、Google Scholar などがあり、Web of Science と同様のデータ蓄積期間がある。
- (E) 国立情報学研究所の CiNii には、国内学会誌をデータ源とする引用文献索引データベースが含まれている。
- (F) Web 上の情報は内容が雑多で品質も玉石混淆のため、情報分析の対象にはならない。
- (G) Web 情報の分析には発信者と発信情報に着目する分析と、リンク関係に着目する分析がある。
- (H) 情報分析で最近特に注目されるのは、電子ジャーナルの閲読（ダウンロード）に関するデータである。各出版社から契約機関に対してデータが提供されるようになり、その共通フォーマットとして COUNTER が提案されている。

問 8 以下は著作物を利用する上での留意点に関する記述である。正しいものには○、間違っているものには×を解答欄に記入しなさい。

- (A) 試験問題に著作物の一部分を利用することは無許諾でできることになっているから、補償金の必要もない。
- (B) Z新聞の社説を論評する記事を雑誌に発表する場合、対象の社説を全文掲載するにはZ新聞社の許諾を得る必要がある。
- (C) 引用したい文にあきらかな誤植がある場合に、訂正したことの注記を入れたとしても直してはいけない。
- (D) 通信社配信と明記された新聞記事を書籍に転載する場合、新聞社に許諾を得ればよい。
- (E) 当社は日本複写権センターと契約しているので、朝日新聞にでた当社の記事を1部コピーして所属部署内に回覧することは許諾済みと認められている。
- (F) 企業内で行われる著作物の複写利用は、どんな場合でも事前の許諾が必要である。
- (G) 孫引き引用をする場合は、原本・原典の出所だけでなく直接引用した資料名も明示しなければいけない。
- (H) 外国で複製・頒布された著作物は、1冊でも日本への輸入実績があれば日本で公表された著作物と言える。
- (I) 出版する書籍の中に資料としてある雑誌の目次をそのまま掲載する場合、目次だけなので許諾は不要である。
- (J) 薬事法に決められた義務として厚生労働省へ提出するためにでも、著作物を複写するには事前許諾が必要である。

問9 以下は Web アーカイブに関する記述である。空欄 (A) ~ (J) にあてはまる最も適切な語句を解答群から選択し、その番号を解答欄に記入しなさい。

Web 上で流通する情報は、頻繁に更新や削除が行われている。Web アーカイビングは、そうした Web 上の情報を保存しようという営みであり、国内では、国立国会図書館の (A) によって (B) な収集が行われている。海外においては、(C)、(D)、(E) などのプロジェクトがある。米国の NPO である (C) は全世界の Web ページを対象に Web アーカイブを構築し、(F) に関連できる (G) を公開している。(D) はヨーロッパを対象に Web アーカイブを構築している。(E) はオーストラリアの Web サイトを (B) に収集するプロジェクトである。このような Web アーカイブに取り組む機関がメンバーとなり、仕様の策定やツールの開発などを行う (H) が 2003 年に発足した。収集した Web ページを蓄積する際の形式 (I) を策定するプロジェクトや効率よく Web ページを収集するためのクローラー (J) の開発などが進められている。

解答群

- | | | |
|---------------------------------|-------------|---------------------|
| 1. American Memory | 2. CGM | 3. European Archive |
| 4. Heritrix | 5. HTTrack | 6. IIPC |
| 7. Internet Archive | 8. IPDL | 9. MARC |
| 10. MINERVA | 11. PANDORA | 12. UCC |
| 13. UK Web Archiving Consortium | 14. WARC | 15. WARP |
| 16. Wayback Machine | 17. テーマ別 | 18. 選択的 |
| 19. 包括的 | 20. 年代順 | |

問 10 以下は無料で使用できるデータベースまたは検索サイトに関する記述である。

(A) ~ (J) にあてはまる最も適切な名称を解答群から選択し、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (A) 全米バイオテクノロジー情報センターにより提供されている 1950 年以降の生物医学分野の文献情報を提供するサービスである。世界約 80 カ国の 20000 誌以上の雑誌記事が収録対象とされている。
- (B) 科学技術全般の報告書が入手できるサイトで、一部、市場規模などのビジネス情報も含まれる。タイトル、筆者、要約、プロジェクト名などから検索ができる。
- (C) 国内の出生数、死亡数、婚姻件数などの人口動態統計が入手できる。その他、詳細な病名での患者数や病院数、介護施設数も収録されている。
- (D) 欧州特許庁が提供しているサービスで、米国、欧州、PCT、日本を含めほぼ全世界の特許情報を収録している。
- (E) IT 関連専門の調査機関サイトで、携帯電話、パソコンなどの市場レポートが掲載されている。
- (F) スタンフォード大学図書館の部門で運営している出版社の電子ジャーナルサイト。医学、生物学などの分野を中心に約 1000 誌が収録されている。
- (G) 国内外医薬品情報を扱っており、医薬品の有効性や安全性に関する文献の他、学会演題発表も収録している。
- (H) 科学技術振興機構が運営する学協会発行雑誌の電子ジャーナルサイトで約 350 誌収録されている。
- (I) インターネット上に存在する無料データベースの書誌情報を作成し、リンクしたサイト。国立国会図書館が運営する。
- (J) 化学物質の名称や番号から有害性情報、法規制情報、国際機関によるリスク評価情報などが検索できるシステム。

解答群

- | | | | |
|----------------------|--------------------|-----------------------|----------------|
| 1. ChemExper | 2. CiNii | 3. Dnavi | 4. esp@cenet |
| 5. e-Stat | 6. HighWire Press | 7. Hoovers | 8. IDC プレスリリース |
| 9. IPDL | 10. iyakuSearch | 11. J-STAGE | 12. KOMPASS |
| 13. MagPortal | 14. Medical*Online | 15. NDL-OPAC | |
| 16. NEDO 成果報告書データベース | 17. PatFT | 18. PORTA | |
| 19. PubMed | 20. Scirus | 21. WARP | 22. Webcat |
| 23. WorldCat | | 24. 化学物質総合検索システム | |
| 25. 厚生労働省統計表データベース | | 26. 国立社会保障・人口問題研究所サイト | |
| 27. 産総研研究成果発表データベース | | 28. 総務省統計局サイト | |
| 29. 日化辞 Web | | 30. 矢野経済研究所リサーチエクスプレス | |

問 11 以下は最近の二次情報データベースの動向に関する説明である。(A)～(J)にあてはまる最も適切なデータベースを解答群から選択し、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (A) 医学薬学分野のデータベースで、臨床医学と医薬分野に力を入れている。現在 5000 誌以上を収録対象としている。選定基準は、国際的な編集委員会を持っていること、Web of Science に収録されていること、被引用が多いことなどである。本文が日本語である雑誌も収録対象である。
- (B) EBSCO と並ぶ大手雑誌取次業者が提供するデータベース。各出版社が提供するメタデータ(書誌、抄録)の検索サービスで、検索結果から出版社の記事全文にリンクしている。MEDLINE や BIOSIS からのリンクも行っている。記事数は 2300 万件で、2 万学術誌の目次サービスも行っている。
- (C) 生命科学分野のデータベースで、一時経営危機に陥ったが、Thomson Scientific 社(現 Thomson Reuters 社)が買収し、現在に至っている。生物に関する全ての学問が収録対象となり、関連する地質学、エネルギー、水理学、海洋学、森林学、化学、物理などの雑誌もモニターされる。医療の実地、患者の手当、医療技術に関するものは収録されない。
- (D) 現在は Elsevier Engineering Information から提供されるエンジニアリング分野のデータベース。約 3000 誌の雑誌と 2000 の学会会議録から年 60 万件の文献を収録している。書籍は通常収録対象ではないが、書籍シリーズはいくつか対象となっている。中国の雑誌など一部の雑誌は目次だけを収録している。
- (E) Thomson Reuters 社が提供する二次情報の科学技術論文の総合的データベースであり、最近インターフェースが大幅に改善された(Version7)。競合する他社データベースが収録対象雑誌数を増やす方針であるのに対し、収録対象雑誌の品質を重視している。収録を希望する雑誌は年間 1000 件あるが、採択率はわずか 10～12%にすぎない。
- (F) 現在は Publishing Technology が提供する電子ジャーナルのホスティングサービス。270 出版社の 1 万誌以上の雑誌を登載している。もともとは医学・生命科学、化学、技術、社会科学、ビジネスが中心であったが、最近は人文関係も増えてきている。収録は原則として電子ジャーナルのみであるが、Elsevier の雑誌だけは例外として外部リンクで提供。
- (G) 近年、研究評価のデータベースとしての地位を狙っており、著者名のデータベースともいべき Author Identifier を提供。Citation Tracker で被引用の詳細を分析できるようにし、h-index という指標も導入した。h-index は National Institutes of Health や University of East Anglia で研究評価に利用されている。

- (H) 図表を索引しているデータベースで、検索結果に pinkynail と呼ばれるサムネイルより小さい図を出力する。図表のキャプションや図の凡例の語句だけでなく、図表のサムネイルや出版社の許可が得られれば高精細度の図表も提供している。最近は Scopus との相互乗り入れを実現した。
- (I) もともと物理、電気・電子、通信、コンピュータ、情報技術、制御工学が収録範囲であったが、最近では生産工学、機械工学、土木、宇宙工学の分野も収録している。Podcast 等マルチメディア資料も対象としている。索引に力を入れており、分類、シソーラスに基づく統制語、化学索引、数値索引、天文学索引、操作索引などがある。
- (J) 米国 IEEE や米国物理学会など、米国の学術雑誌出版社が 2007 年 2 月に開始した共同のポータルサイト。検索は無料だが、全文にアクセスする際は各出版社の認証が必要となる。独自の検索エンジンを持っておらず、協調検索方式を採用している。現在は実験段階で 2008 年中にはサービスの提供を行うと見られる。

解答群

1. Beilstein	2. BIOSIS	3. CAplus
4. CSA Illumina	5. CURRENT CONTENTS	6. EBSCOhost
7. Ei Compendex	8. EMBASE	9. ERIC
10. GENBANK	11. Google Scholar	12. Ingenta Connect
13. INPADOC	14. INSPEC	15. iyakuSearch
16. JMEDPlus	17. LISA	18. MEDLINE
19. Gale Group PROMT	20. ProQuest Medical Database	21. PsycINFO
22. ScienceDirect	23. Scitopia	24. Scopus
25. Springer LINK	26. SwetsWise	27. Thomas Register Online
28. Web of Science	29. WorldCat	30. 医中誌 Web

問 12 以下は、STN International の Chemical Abstract Service ファイルで検索したときの流れを抜粋したものである。

とについて、(A) ~ (J) のうち、エラーメッセージを解消する方法として正しい操作には○、誤った操作には×を解答欄に記入しなさい。

***** STN 東京 *****

=> FILE CA
FILE 'CA' ENTERED AT 09:52:55 ON 17 AUG 2008
USE IS SUBJECT TO THE TERMS OF YOUR STN CUSTOMER AGREEMENT.
PLEASE SEE "HELP USAGETERMS" FOR DETAILS.
COPYRIGHT (C) 2008 AMERICAN CHEMICAL SOCIETY (ACS)

FILE COVERS 1907 - 14 Aug 2008 VOL 149 ISS 8
FILE LAST UPDATED: 14 Aug 2008 (20080814/ED)

=> S ACETIC?
L1 267237 ACETIC?

=> S B01D?/IPC
L2 214593 B01D?/IPC

=> S L1 AND L2
L3 2149 L1 AND L2

=> SDI
ENTER QUERY L# FOR SDI REQUEST OR (END):L3
ENTER UPDATE FIELD CODE (UP) OR ?:
ENTER SDI REQUEST NAME, (AA001/S), OR END:ACETIC
'ACETIC' IS NOT A VALID SDI REQUEST NAME
Enter "HELP SAVED NAMES" at an arrow prompt (=>) for a list of rules for saved names. To see a list of all SDI request names for this loginid, enter "DISPLAY SAVED/S" at an arrow prompt (=>).
ENTER SDI REQUEST NAME, (AA001/S), OR END: HELP
Enter a name for the SDI request. You may choose the system-assigned name in parentheses, or you may create your own name. The name you create for the SDI request must:
1. Begin with a letter,
2. Have 1-12 characters,
3. Contain only letters (A-Z) and numbers (0-9),
4. End with /S,
5. Not already be in use as a saved name,
6. Not be: END, SAV, SAVE, SAVED, or an L#.

ENTER SDI REQUEST NAME, (AA001/S), OR END:

=> D L3 TRIAL
'TRIAL' IS NOT A VALID FORMAT FOR FILE 'CA'

The following are valid formats:
ABS ----- GI and AB
ALL ----- BIB, AB, IND, RE
APPS ----- AI, PRAI
BIB ----- AN, plus Bibliographic Data and PI table (default)

CAN ----- List of CA abstract numbers without answer numbers
 CBIB ----- AN, plus Compressed Bibliographic Data
 CLASS ----- IPC, NCL, ECLA, FTERM
 DALL ----- ALL, delimited (end of each field identified)
 DMAX ----- MAX, delimited for post-processing
 FAM ----- AN, PI and PRAI in table, plus Patent Family data
 FBIB ----- AN, BIB, plus Patent FAM
 IND ----- Indexing data
 IPC ----- International Patent Classifications
 MAX ----- ALL, plus Patent FAM, RE
 PATS ----- PI, SO
 SAM ----- CC, SX, TI, ST, IT
 SCAN ----- CC, SX, TI, ST, IT (random display, no answer numbers;
 SCAN must be entered on the same line as the DISPLAY,
 e. g., D SCAN or DISPLAY SCAN)
 STD ----- BIB, CLASS
 KWIC ----- Hit term plus 20 words on either side
 OCC ----- Number of occurrence of hit term and field in which it occurs

To display a particular field or fields, enter the display field codes. For a list of the display field codes, enter HELP DFIELDS at an arrow prompt (=>). Examples of formats include: TI; TI,AU; BIB,ST; TI,IND; TI,SO. You may specify the format fields in any order and the information will be displayed in the same order as the format specification.

All of the formats (except for SAM, SCAN, HIT, HITIND, HITRN, HITSTR, FHITSTR, HITSEQ, FHITSEQ, KWIC, and OCC) may be used with DISPLAY ACC to view a specified Accession Number.

ENTER DISPLAY FORMAT (BIB): 操作 (2)

操作 (1)

- (A) END と入力した。
- (B) LOG Y と入力した。
- (C) ACETIC-0808/S と入力した。
- (D) DISPLAY SAVED/S と入力した。
- (E) ACETIC/S と入力した。

操作 (2)

- (F) D FAM と入力した。
- (G) SCAN と入力した。
- (H) FBIB と入力した。
- (I) STD 1-4 と入力した。
- (J) PATS CLASS と入力した。